

登山学校レポート（第1回講習）ロープワーク

日程及び場所：5月21日（土）大津山自然公園～5月22日（日）日向神八女津姫スラブ
氏名（田中敦典）・所属会（福岡勤労者山岳会）

昨年5月に福岡勤労者山岳会（アゼリア山の会）に入会させていただきました。これまでの日帰り登山や縦走登山だけではなく、岩や沢なども含めた幅広い山登りをしたいと思っていましたし、そのための技術を身につけたいと思ったからです。昨年10月に会の初級岩登り講習を受講してから、クライミングに何度か連れて行っていただき、装備も少しずつそろえることができました。さらに色々な技術や知識を身につけたいと思っていたところ、県連登山学校があることを知り、会長さんに相談し受講させて頂く事になりました。

4月の県連登山学校の説明会に参加した時に、県連登山学校は福岡県連における事故ゼロに向けた登山を実現するための人材育成の場であり、単なる個人の登山技術や知識の習得が目標ではないことを知りました。果たして自分がその任に堪えられるのか不安もありますが、県連登山学校で学び、それを会に少しでも還元できれば、自分の知識や技術もより確かなものになるだろうし、会のためにもなり、そのことが事故を減らすことにつながるだろうと考えています。そのために年間カリキュラムの全ての内容において講師の方や仲間から学んだ事をしっかり自分のものにすることを目標にしたいと思います。

今回、第一回目の講習であるロープワークに参加させていただきましたが、最初から盛りだくさんで中身の濃いものでした。一日目は、ハーネスの装着からロープやスリングの種類や特性、ロープのさばき方や巻き方を実際にやりながら教えていただきました。しかし基本的なロープワークで、一応これまで自分なりに出来ていた事でも、とっさに片手で考えずに結ぶことがなかなかできません。つまりこれまでは実際に使える知識や技術になっていなかった事がよくわかりました。午後は、2グループに分かれて斜面を利用してマルチと懸垂下降の練習をしました。午前中学んだ事を実際に試してみることができ、これまで一度もやったことがなかったムンターヒッチでの下降やフリクションヒッチをいろいろ試してみて、今後、このやり方を基本にしよう自分なりのやり方を固めることができました。

二日目は、八女津媛スラブに行き、外岩での講習でした。2グループに分かれ、支点構築、セルフビレイ、リードのビレイ等を交代で実践することができました。これまで意識したことが無かったカラビナの掛け方や懸垂下降での確認の仕方など、マンツーマンに近い形で教えていただくことができました。「安全環閉まっていますか？」と注意され、「あっ」と気が付くこともあり、「まだまだだなあ」と改めて感じたところです。

二日間を通して、いろいろな知識や方法を学び、引き出しが増えて、自分なりのやり方を少し固めることができたことを嬉しく思います。一方で、安心・安全に登山をするためには、間違っていることや危ない状況にあることに気が付くことができる知識や技術をもっと身につけなければならないことを再認識しました。安全登山のために、今後の講習でさらに知識や技術を積み重ねていきたいと思っています。二日間有難うございました。